

研究計画概要

助成年度・種別	2026年度 一般研究助成
研究代表者	原田 隆之
所属	筑波大学
研究テーマ	遅延価値割引に基づく性犯罪者治療モジュールの開発とパイロット効果検証
研究計画概要	<p>本研究は、性犯罪者の再犯防止に向け、意思決定バイアスである遅延価値割引に着目し、その測定・構造・介入可能性を体系的に検討することを目的とする。</p> <p>遅延価値割引とは、目先の価値を過大評価し、長期的な価値を過少評価する認知傾向のことで、アルコールやタバコ、薬物、ギャンブルなどの依存症者においては、この傾向が顕著であるとされている。</p> <p>そこで、性犯罪者にも同様の傾向が見られるかどうかを確かめるため、性犯罪者と一般成人を対象に割引率と衝動性を測定し、両群の差異を明らかにする。</p> <p>次に、遅延価値割引が再犯リスクに及ぼす影響を、衝動性を介した場合とそうでない場合を比較検討し、性犯罪に特有の意思決定バイアスの特徴を明らかにする。</p> <p>さらに、得られた知見に基づき、目先の価値に飛びつかない未来志向の強化や選択遅延化訓練など、遅延価値割引の偏りを修正する治療モジュールを開発し、少人数のパイロット研究で実施可能性・受容性・短期的効果を検証する。</p> <p>これらを通して、本研究は、性犯罪者治療の治療効果の向上に資する新たな理論的・実証的基盤を提供するものである。</p>
選考委員からのコメント	<p>本研究は、性犯罪者の再犯防止に「遅延価値割引」という視点から新しい認知的介入手法の開発を目指すものである。研究によって、従来の行動・情緒中心の治療を補完することが大いに期待される。また、治療効果についての実証的研究を目指している点も高く評価される点である。</p> <p>本研究の成果が医療機関のみならず、性犯罪者の施設内処遇や社会内処遇にも大いに役立つことが期待される。</p>